

地域政策課から、4月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

新玉地区

4月6日 新玉小新1年生 入学交通安全キャンペーン

新玉地区まちづくり委員会の防犯・交通分科会では、4月6日の入学式に合わせて、「新玉小学校 新1年生 入学交通安全キャンペーン」を行いました。

当日は、新玉地区民生委員児童委員協議会やボランティア会のメンバーが、自由ノートや折り紙のほか、小田原警察署の協力による反射板等の交通安全グッズなどをセットにした入学記念品を、22名の新1年生一人ひとりに手渡し、新1年生の新しい門出をお祝いしました。



二川地区

4月15日 めぞん足柄

二川地区まちづくり推進委員会の地域振興分科会では、子どもの居場所づくりや世代間交流の促進を目的として、毎週水曜日に井細田公民館で「めぞん足柄」を運営しています。

新年度初開催のこの日、待ちわびたこどもたち40数名が集い、読書や電子キーボード、ゲームや隣接する神社境内での外遊びなど、友達同士で自由な時間を過ごしていました。



地域政策課から、4月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

万年地区

4月15日 サロンしおざみ

万年地区まちづくり実行委員会の健康・福祉分科会では、9月と12月を除き、毎月サロン会を開催しています。

新年度初めての開催となった今回は、講師に丹羽病院の宮下院長（消化器内科）をお招きし、「おなかから始める健康管理」をテーマに講演いただきました。

宮下院長は、消化のための口腔ケアや嚥下の大切さを訴えながら軽妙なトークも頻繁に交え、参加者からは繰り返し笑いが湧き起こり、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



地域政策課

地域担当職員の拡充

本市では、地域と行政をつなぐ伴走支援の役割を担う「地域担当職員」の拡充を進めており、令和7年度に2名、令和8年度に1名を増員しました。

当面は増員と業務の拡充により、地域活動のコーディネート機能の強化を試行的に進めながら、地域に寄り添った伴走支援の体制を確立していきます。



小田原市地域コミュニティ係 公式Instagram(インスタグラム)を開設しました!

～Instagramってなに?～

写真や動画の共有に特化した無料のSNSです。スマホやiPad、パソコン等から閲覧することができます。



～開設の目的～

どの地域でも担い手不足が課題である中、子ども会の衰退などにより若者が地域の活動を知る機会は減っています。

そこで、ユーザーの多くが10代～20代であり、若者に届きやすいInstagramを活用することで、まずは「地域コミュニティ組織」の存在を知ってもらい、「面白そう」「こんな活動をしてくれているんだ」と興味をもってもらうきっかけを作ることが狙いです。

若い世代の目に留まりやすくするため、親しみやすさを重視したライトな内容を発信していきます。

～アカウントのご紹介～

ユーザーネーム：odawara_communavi

名前：【小田原市公式】コミュなび!!

地域コミュニティ組織をナビゲートするという意味でつけました。

同じ名前ですが、本紙面のコミュなび!!以外の情報も載せていきます。



右のQRコードから、ぜひフォローやいいねをよろしくお願いします!

